

【報道関係者各位】

令和 7 年 1 0 月 3 1 日

発行：南山城村商工会

地域発！“お茶の村”から始まる新たな挑戦

— 南山城村で「製茶業者による新商品開発セミナー」を開催 —

～茶価高騰の今こそ、小売市場へ挑む！ 価格を自ら決める“新しいお茶づくり”が始まる～

■ 茶価高騰をチャンスに変える — 南山城村の挑戦

京都府最南端に位置する**南山城村**は、総面積の約 72%を森林が占める中山間地域です。

令和 7 年 1 月時点の人口は 2,378 人。過去 5 年間で約 1 割減少し、高齢化率は 51.3%（府内 2 番目）に達しています。

村の基幹産業である製茶業は、これまで**農協などへの卸売が中心**でした。

一方、近年の**茶価高騰**は、製茶業者にとって“追い風”であると同時に、

「自らの手で価格を決め、消費者に直接届ける」新たな販売モデルへ踏み出す好機でもあります。

こうした状況を踏まえ、南山城村では**村ぐるみで新たな販路開拓と商品開発に挑むプロジェクト**を始動します。

■ 卸売から小売へ — “価格の自己決定権”を取り戻すための実践型セミナー

南山城村商工会では、製茶業をはじめとする村内中小・小規模事業者を対象に、

****「新商品開発セミナー」****を開催します。

本セミナーは、**将来の市場展開を見据えた第一歩**として、

参加企業が自社の強みを再発見し、消費者目線での商品開発の考え方を学ぶ実践型プログラムです。

支援内容は、以下の工程のうち、商品づくりに向けた“構想段階”を中心に行います。

「市場設定」→「商品コンセプト」→「マーケティング戦略」→「試作品開発」

本年度は、**テストマーケティング（販売検証）までは支援対象外**ですが、

セミナーを通じて学んだ企画や設計力が、将来の市場投入や販路拡大へとつながることを目指します。

各企業には、専門的経営支援コーディネーターが伴走し、

“自ら価格を決められる商品づくり”を念頭に、段階的な計画策定をサポートします。

■ 村の“お茶”が変わる。若手・後継者も動き出す

今回の取組では、既存の製茶業者だけでなく、若手経営者や後継者、さらに農産加工・観光関連など**異業種との連携**も将来的な視野に入れています。

地元茶葉を活かしたスイーツや飲料、クラフト商品など、

「これまでにない“南山城村発”の商品」が生まれる可能性も。

茶価高騰の追い風に、“売値を自ら決める力”を取り戻し、卸売から小売へ——。

村全体で“自ら市場をつくる”挑戦がいま、始まります。

■ 開催概要

- ・ **日 時**：令和7年11月10日（月） 15時～17時
- ・ **会 場**：南山城村商工会館（京都府相楽郡南山城村北大河原久保 13-3,14-5）
- ・ **対象者**：村内製茶業者および関連中小・小規模事業者
- ・ **講 師**：専門的経営支援コーディネーター（予定）
- ・ **内 容**：（あくまで予定であり、変更を生じる場合があります）
 1. 茶価高騰下における市場変化と販売戦略
 2. 商品開発の考え方と市場設定
 3. “価格を自ら決める”ためのブランド設計
 4. 事例紹介・意見交換
 5. 今後の支援計画と参加募集案内
- ・ **参加費**：無料（要事前申込）
- ・ **定 員**：10名（先着順）

■ 取材のご案内

当日は、村内製茶業者をはじめ、若手経営者や後継者の参加も予定しています。

茶価高騰を背景に、「価格の自己決定権」を取り戻そうと動き出す地域産業の最前線――

南山城村の“ものづくり再生の現場”を、ぜひご取材ください。

（現地での撮影・インタビューも対応可能です）

■ お問い合わせ・取材申込先

南山城村商工会 担当：山下・小川

〒619-1411 京都府相楽郡南山城村北大河原小字久保 13-3,14-5

TEL：0774-93-0100 FAX：0774-93-0244

E-mail：minamiyamashiro-sci@kyoto-fsci.or.jp

【取材ポイント（報道資料用メモ）】

- ・ 茶価高騰を背景に「卸売から小売への転換」
- ・ **価格の自己決定権を取り戻す地域モデルの構築**
- ・ 高齢化率51%の村が挑む「地域経済の再構築」
- ・ 茶業×異業種連携による新商品構想づくり
- ・ 若手・後継者が担う“次世代の地域産業モデル”

※本セミナーは、南山城村商工会が地域経済の持続的発展を目指して実施する「令和7年度伴走支援体制強化等事業」の一環です。